夢キャンドルナイト 2023

開　催　趣　意　書

2007 年、映画『不都合な真実』を観た当時の若者達が、「地球はもう人間の力では、どうにもならないところまで悪くなってしまう。」という言葉に衝撃を受け、地域社会に地球温暖化問題を考える機会をつくり、子ども達の夢を未来に繋げたいという思いの中、下妻青年会議所の若者が中心となり取り組んだのが、『キャンドルナイトしもつま・やちよ』の始まりです。

市町村合併を目前にして、合併にならなかった下妻市民・八千代町民が行政区を越えて、心をひとつにして、地球温暖化防止のため、50 年後の子ども達のための事業として、１４,２８４本（心はひとつ、しもつま、やちよ）のキャンドル（当時、日本一のキャンドル本数）にあかりを灯すイベントを考えました。キャンドルには、地域の子ども達の夢や願い、子ども達が地球のためにできることを描いた行燈が巻きつけられ、夢キャンドルとして幻想的なあかりが会場を彩りました。

１年目は、砂沼サンビーチ会場、県立下妻第二高等学校、八千代町役場広場の 3 つの会場であかりを灯しました。7 年後の 2015 年に採択されることになる「持続可能な開発目標 SDGs」などがない時代に、1992 年のリオネジャネイロの国連環境会議(地球サミット)の席で、当時 12 歳の少女・セヴァン・スズキさん（子供環境運動：ECO: Environmental Children's Organization）の地球環境に対しての「伝説のスピーチ」を、地域住民である大人と子ども達の朗読によって読まれました。当時のチラシに啓発として「温暖化すると、こんなことが起こります。」と掲載した異常気象や災害は、「日本のことではなく外国のことだ。」と、皆が他人事に思っていた時代でした。そんな時代背景の中、地域の自主自立の住民参加型の環境活動として産声をあげました。

２年目の 2008 年からは、使用済みペットボトルを回収し、加工したキャンドルを飾りました。廃油を利用したエコキャンドルの製作等も行い、多様な方々の参加のもと、こころをひとつにして 10,000 本以上のペットボトルを切りました。会場は 1 ケ所に集約して地域のイベント等と連携して下妻市・砂沼広域公園にて行うようになりました。また、日本青年会議所が全国各地の優れた事業を検証し褒賞する「日本青年会議所 AWARDS JAPAN 2008」において、環境開発部門の優秀賞として『～50 年後の子ども達へ～キャンドルナイトしもつまやちよ』事業が受賞しました。茨城県内では 30 年ぶりの功績となりました。子ども達の夢キャンドルを描いてもらうエリアは拡大し、下妻市と八千代町全域の幼稚園、保育園、小学校 1 年生から 6 年生まで計 6,000 通を超えるようになってきました。

4 年目の 2010 年からは、筑波大学の芸術系教授と研究室が参画するようになり、キャンドルナイトデザインや広報物などのデザインが飛躍的に一新されました。第 5 回記念大会、第 10 回記念大会と会を重ね、その間、全国各地の増え続ける災害への復興支援（子ども達の夢キャンドルによる応援支援、賛同金の一部の義援金支援）なども行うようになりました。夢キャンドルを描く子ども達のエリアも下妻市、八千代町に加え、常総市の子ども達も夢を描くようになりました。この間、下妻青年会議所をはじめ、関係する皆様にはイベントを継続していただき深く感謝を申し上げます。2007 年に夢を描いた少年少女は、今では社会人になり、少年少女のときに夢を描いた職業に就き、結婚し、子を授かり、その子どもが、夢キャンドルを描く年になっている方もいらっしゃると思います。これこそが『地域の子ども達の夢の継続』です。

新型コロナウイルス発生により、2019 年のキャンドルナイトを最後に開催が見送られました。「50 年後の子ども達へ」をテーマに継続してきた活動は、2050 年まで続けることが目標でしたが、断腸の思いでした。

その間、子ども達の夢やそのまた次の世代の子ども達の夢を継続して支援していくためにはどうすればいいのかと、持続可能な組織のあり方を再考しました。多様な方々が参加する地域の自主自立の真の住民参加型の活動にして再開をしたいと考え、私たちは「NPO 法人夢キャンドルナイト協議会」を設立いたしました。地域の方々と共に、「夢キャンドルナイト実行委員会」を運営し、『地球温暖化問題を考える機会』と『子ども達の夢の応援』を継続的に行ってまいりたいと考えます。

昨年 2022 年に再開された『夢キャンドルナイト』は、創設時の目的である「地球温暖化問題について考える機会を提供すること」「子ども達の未来の夢を応援すること」に加え、「世界の平和を願うこと」「災害で困っている人を助けること」を目的に行い、ウクライナ大使館を通じて、苦難に面しているウクライナの子ども達のための支援も行いました。

本年 2023 年も昨年に引き続き、その考えを継続して開催をしたいと考えております。経緯と趣旨をご考慮の上、この活動に賛同をしていただけたら幸いです。何卒ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

●開催場所

下妻市・砂沼広域公園　多目的広場（旧砂沼サンビーチ駐車場脇）　茨城県下妻市長塚乙 4-1

●開催日時

2023 年 11 月 25 日（土）

『夢キャンドルナイト前昼祭』（仮称）イベント	午前１１時～午後５時（予定）
『夢キャンドルナイト 2023』イベント	午後４時３０分～午後７時３０分予定（片付終了午後 9 時予定）
『ブラックイルミネーション』（企業、店舗、事業所の消灯活動）	午後 5 時～午後 8 時
『あかりを消してスローな夜を』（自発的に行う各家庭の消灯活動）	午後 5 時～午後 8 時

●開催内容

1．下妻市・砂沼広域公園多目的広場にて、夢キャンドルナイトのイベント

2．下妻市、八千代町、常総市の幼稚園、保育園、小学校の子ども達を対象とした約 6,000 通の『私の将来の夢』（夢キャンドル）の展示

3. 夢キャンドルナイト賛同金の一部を教育資材などの生活物資購入費として、ウクライナ大使館を通じて人道支援を行う。

●主催団体

NPO 法人　夢キャンドルナイト協議会

理事長　　井上　誠

夢キャンドルナイト 2023　実行委員会

実行委員長　　柴　信一

●後援・協力賛同団体

(2022 年実績)

特別後援　下妻ロータリークラブ

共催　下妻市

後援　筑波大学、筑波大学芸術系加藤研究室、
茨城県、茨城県教育委員会、
八千代町、常総市、
下妻市教育委員会、八千代町教育委員会、常総市教育委員会、
国際ロータリー2820 地区
水海道ロータリークラブ、水海道ライオンズクラブ、茨城八千代ライオンズクラブ、
下妻市商工会、八千代町商工会、
その他

協力　茨城県立下妻第二高等学校、イオンモール下妻、

●賛同企業・ブラックイルミネーション企業

賛同された企業様は今後、ホームページにて掲載となります。

http://cn2050.jp

●問い合わせ先

井上　誠　（090-4392-8557）

柴　信一　（090-1886-4105）